

(別紙)

## 第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>吉田保育園は基本理念を「子どもの最善の利益を第一とし、家庭や地域との連携を図り、子どもの発達を促します。」と掲げ、5つの保育方針、4つの保育目標を設定、明文化しています。これらは各クラスや事務室に掲げられ、保護者や職員は日常的に目にするようになっていきました。職員は年度初めの園内会議で読み合わせを行い、保護者へは、「入園のしおり」に明記し、周知を図っています。</p> <p>しかし今回実施した職員アンケート結果では、「法人又は事業所の理念や方針について会議や研修で取り上げるなど職員の理解を深める取組を行っていますか。」の問いに「できている」との回答率は低くなっており、周知の取組みが望まれます。</p>		

#### Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>下野市の第二次総合計画、子育て応援しもつけっ子プラン、また、公立保育園民営化実施計画において、本市の子育てや保育園を取り巻く環境、経営状況が分析されており、それらは本園に配付されています。また、園長は研修会や会議に出席し、保育を取り巻く現状、動向について研鑽を積んでいます。</p> <p>しかし、職員アンケートでは「施設長は職員に対して経営状況や経営上の課題について説明していますか。」の問いに「できている」との回答率は低くなっており、経営環境の説明について、今後の取組みが望まれます。</p>		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組みを進めている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員配置、施設・設備の整備など、本園の整備課題については、事務事業評価シートにより整理され、本庁で保育士の採用計画、公共施設等総合管理計画、保育園遊具修繕計画が立てられ、これらの計画に従って予算化が図られ、具体的な事業が計画的に行われています。事務事業評価シートは、園長よりこども福祉課に提出され、こども福祉課による1次評価、委員会、市長による2次評価がされ、市全体で総合評価が位置づけられ、具体的な整備事業</p>		

に結び付けられています。

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>下野市の上位計画である「第二次総合計画」において本市の子育て環境づくりの中長期ビジョンが掲げられ、それをもとに子育て環境整備の事業計画である「子育て応援しもつけっ子プラン」、さらに「公立保育園民営化実施計画」が策定されています。この民営化実施計画において吉田保育園は、平成35年4月から民営化されることが決定されています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>市の「第二次総合計画」をもとに、5年間の事業計画として「子育て応援しもつけっ子プラン」があります。この計画において各年度の事業目標が定められ、事業の進捗を勘案しながら年度の予算要求を踏まえ、年度の実施計画が策定されています。本園の年度事業もこの計画のもとに予算化が図られ、実施計画に盛り込まれています。</p> <p>保育内容についての年度計画については、主な計画として保育課程、年間指導計画、年間行事計画があり、年間の保育活動が計画的に行われています。その他、園の環境整備計画、避難訓練年間計画、職員研修計画など、各部門についても年間計画が作成され、それによって計画的に活動が行われています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画とは「第二次総合計画」や「子育て応援しもつけっ子プラン」、また各年度の「実施計画」が相当し、本庁企画部門やこども福祉課が担当しています。策定にあたっては子育て関係事業者、保護者代表が策定会議に参加するなど、子育て当事者や支援の現場の意見を踏まえ、定期的に見直し、計画策定が行われています。</p> <p>本園の保育課程、年間指導計画、年間行事計画など保育内容や園の活動については、担当者が決められグループで検討したり、主任が中心となり検討を行っており、検討結果は園内会議で協議され、決定されます。行事等については実施後、保護者へのアンケートを実施し、グループ会議や園内会議で結果の反省、評価を行い、問題点や改善点を明確にし、次年度の計画に反映しています。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本市の第二次総合計画や子育て応援しもつけっ子プランなどの計画内容について、入園のしおりや保護者会総会資料などに記載がないことから、説明は行われていないものと思われる。</p>		

ます。

保育内容に関する年間行事や園の環境整備については、「保護者会総会資料」に記載されており、説明、周知されていることが確認できます。また、各行事の実施の際には、保護者アンケート等により意見を聴きながら実施しており、また、実施にあたっての詳細を通知していることから、保護者等の周知、理解を得ながら実施していることが確認することができました。

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の質の向上のために、全職員が「保育者のための自己評価チェックリスト」を年2回行っています。今年度は前期の自己評価を9月に実施し、園全体で集計した結果の資料を職員に配付し、報告を行っています。しかし、その結果をもとに課題の検討、今後の保育サービスの質の向上に向けた取り組みを検討するなどの活動は行われていないことから、今後、園内での検討体制の整備が望まれます。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「保育者のための自己評価チェックリスト」の結果は園全体で集計し、その結果資料は職員に配付、報告が行われていますが、それから先の検討活動は行われていません。自己評価結果をさらに分析し、今後の保育サービスの質の向上に向けた取り組みについて組織的な検討体制、さらに取り組みを実践する体制の整備が望まれています。今回実施した職員アンケート結果でも、「組織の課題やサービス内容について、職員の意見を反映するしくみはありますか」の問いに、また「組織の課題やサービス内容についての調査や自己評価を実施し、職員も参加して結果の分析や課題の検討を行っていますか。」の問いにも「できている」との回答率は低い結果となっており、職員からもそのような体制整備、活動の実施が望まれています。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本市の就業規定や職務分掌に園長の施設長としての責務、権限が規定されています。また今年度は、年度初めに本園の事務分掌を作成し、園長はそれを説明することで、施設長としての役割、責任を職員に対し表明、周知を図っています。また、火災・自然災害等の緊急時における園長の役割、責任がマニュアルに明示されるなど、園での業務、活動における園長の責務が明示、周知されています。日頃の職員会議においては、園長として業務の指示、助言を的確に行っている様子が会議録などうかがうことができました。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は施設長としての研修や各種会議に出席し、その活動を通して子育て支援に関連する遵守すべき法令等の情報収集、把握に努めています。また、事務室内に子育て支援に関する法令等の例規集を置き、いつでも確認できるようにしています。しかし、園内で法令に関する勉強会を行うなどの自主的な研修活動については確認できなかったことから、今後の取り組みが望まれます。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の保育サービスの質の向上に向けて、臨時職員を含め職員が、市内研修会や年齢別研修、各種テーマ別研修に積極的に参加できるようにしています。月別の指導計画、各種行事計画の作成にあたっては担当職員に対し、適切な助言、指導を行い、計画の作成にあたっています。また日頃の保育活動については、各クラスの日誌、報告をチェックし、活動状況を把握するとともに、適切な保育サービスが行えるよう指導、助言を行っていることが、会議録等うかがえます。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は日頃の保育活動を通して得た職員の意見を集約し、それをもとに改善策を取りまとめ実行に移しています。今年度は「重大事故が発生しやすい場面」について、職員より意見を募り、それをもとに保育方法の対策や施設・設備の修繕対策を取りまとめています。「プール遊び」の方法改善についてもその1つであり、管理する職員数が足りない場合は「中止にする」ことにしています。園長は職員の意見を集約し、園の活動改善に結びつけるなど、指</p>		

導力を発揮していることがうかがわれます。

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本市の保育園人事については本庁で行っています。本園の入園者数と職員配置の分析が行われ、本市の保育園全体で、臨時保育士を含め保育士採用の方針、計画が検討され、ハローワークなどへの求人活動が実行されています。人材の確保については本園において最も重要な課題となっており、課長面談や自己申告書などにおいて要求をしていますが、新たな人材の確保に結びついていないのが現状であり、現場の意見を反映する仕組みの改善が望まれます。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>正規職員については、本庁総務人事課のもとで総合的な人事管理が行われています。職員の適正配置・処遇、また育成の観点から人事評価が実施され、同時に業務に対する自己評価（チェックリスト）、就業に対する希望について自己申告も行われ、人事評価結果は本人に開示されています。</p> <p>臨時職員については人事評価を行っていませんが、雇用契約時に個人面談が行われています。就業継続の意向、保育士としての実績、反省、今後の目標、自分の強み・弱みといった自己評価の申告が行われています。</p> <p>今回実施した職員アンケート結果をみると、「人事考課の目的を職員に説明し、人事考課の結果について職員へのフィードバックがされていますか。」の問いに「できている」との回答は低く、臨時職員に対し人事評価を行っていないことが反映されていると考えられます。臨時職員の実績、能力を最大限に生かすためにも、臨時職員に対する何らかの人事評価制度の整備が望まれます。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>休暇等の取得については職員の希望に沿って取得できるようにしており、毎月、各職員の勤務意向を確認し、それをもとに毎月の勤務予定表が作成され、各職員に配付されています。各職員の勤務状況について正規職員はパソコン上の出退勤システムで、臨時職員は臨時職員出勤簿で詳細に管理しています。</p> <p>職員はストレスチェックを実施し、結果によってカウンセリングを受けることになっています。また、園長は職場環境改善のため、メンタルヘルスの研修を受けることになっています。正規職員は課長面談、臨時職員は園長面談を実施し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。</p>		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>正規職員については本市で統一して行っている人事評価制度により、育成に向けた取り組みを行っています。各職員は個人目標を設定し、手段・方法、期間など具体的な実施スケジュールを立てて行われています。研修の成果について中間と期末に課長と面談し、自己評価を行っています。また、個人研修受講一覧を作成しており、過去の研修実績を把握し、次に役立てるなど行っています。</p> <p>臨時職員については、年2回面談で目標確認を行っていますが、正規職員のような人事評価制度に基づく取り組みにはなっていないことから、今後の検討が望まれます。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>臨時職員を含め、全ての職員に対し研修の機会を作り、参加を促しています。職員には市内5園研修、年齢別研修、テーマ別研修など様々な研修が用意されており、個々の職員の専門性を階層別職員体系表に沿って把握し、職員研修計画が立てられ、外部研修、内部研修が計画的に行われています。また、各職員別に研修受講一覧が作成されており、過去の研修活動の実績を考慮しながら、研修活動が行われています。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>下野市内特定教育・保育施設に勤務する保育士や教諭を対象とした研修があり、テーマ別に実施しています。その他、市立保育園では年齢別にテーマに沿った研修を行い、個々の保育士の階層に沿った研修活動を行い、質の向上に努めています。園内研修では研修報告する場を設け、全職員の共通理解に努めています。職員アンケート結果で「研修を修了した職員は、報告レポートを提出したり、皆の前で発表する取組はありますか。」の問いに「できている」との回答率が91%と大変高い値を示しており、研修の成果の共有化が、確実に行われていることがうかがえます。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生の受け入れについては、マニュアルに従って実施しています。学校側の要請に従って実習プログラムを用意し、指導にあたっています。実習生からは毎日実習日誌が提出され、それを担当職員、主任、園長が確認しています。また、実習最終日には園長、主任、担当職員が参加する反省会が行われています。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われてい	a・b・c

	る。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園は下野市立保育園であるため、保育園の事業等に関する情報公開は、下野市で行っており、市のホームページで本園の概要が紹介されています。また、今回の第三者評価の実施により、とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構のホームページに本園の概要、評価結果が掲載されることとなります。本園の訪問者や入園を希望する保護者に対し園の概要を紹介するリーフレットは、まだ作成されていないことから、今後の取り組みが期待されます。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園はパソコンの財務会計システムにより支出、歳入・歳出の管理を行っています。また、市による行政監査、県による指導監査を定期的を受審しています。今回実施した第三者評価についても評価結果の公表を予定しており、公正かつ透明性の高い経営・運営の取り組みが行われています。</p>		

#### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園は理念を「子どもの最善の利益を第一とし、家庭や地域との連携を図り、子どもの発達を促します。」と掲げ、「地域との連携」を子育ての柱において、保育活動を行っています。本園の行事には地域の方々や高齢者を取り込んで実施する行事が多く組まれています。「ゆうがお大学」では、地域の高齢者が紙芝居や絵本の読み聞かせ、人形劇を子どもたちにしてくれます。「十五夜参観」では、地域の方々や高齢者を招き、藁鉄砲作りを習い、吉田地区に伝わる豊作を祈る伝統行事を行っています。地域と共に歩むことで、地域の文化や知恵の伝承に取り組んでいます。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティアの受け入れは、マニュアルに従って実施しており、マニュアルのなかにボランティア受け入れの意義および目的が明記されています。近年、ボランティアの希望者がいないことから、行っていません。人材が不足する現状にあり、ボランティアは貴重な人材でもあり、また、保育士を目指す人材を育てるためにも重要であることから、今後、積極的な受け入れの取り組みが期待されます。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

全職員が携帯する「しもつけ保育ポケット」には、保育の場面、緊急時の場面毎に、関連する施設や部署の連絡先が書き込まれていて、いつでも確認することができます。また、本園の運営に関連する小学校・幼稚園・保育園、子育て関係機関、行政施設、警察や消防署、地域自治組織地域といった関係機関のリストを整理しています。また、図書館や子育て支援センターなどの行事予定や他の保育園のサービス情報などを掲示し、保護者への情報提供を行っています。特に地域の小学校とは本園からの引き継ぎの連携があり、幼小連絡協議会に参加して情報交換、交流活動を行っています。また、発達支援センターこぼと園とは、発達に不安を抱える園児に対し、連携して対応にあたっています。

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
----	--------------------------------	-------

<コメント>

園庭など本園の施設を地域に開放するなどの還元は行っていませんが、送迎時に園庭で親子で遊んだり、保護者同士が交流するなどの場となっています。また、今年度より「一日保育士体験」を実施しています。本園の園児の親を対象に、1日保育士として園での生活を体験してもらう活動であり、保育の様子を見たり感じたりすることで子どもへの関わり方や子どもに対する理解を深めてもらうために行っており、体験した保護者からは、「大変有意義な一日でした。体験して本当によかったです。」といった感想が寄せられていました。

27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

現在、本園から4名の園児が「下野市こども発達支援センターこぼと園」に通園しています。発達に不安を抱える子どもを持つ保護者に対し、悩みごとなどの相談に応じており、子どもの健全育成と保護者の安心を支えています。



## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園の理念は「子どもの最善の利益を第一とし、家庭や地域との連携を図り、子どもの発達を促します。」とうたっています。この基本理念については、年度初めの職員会議で読み合わせを行っている他、各クラスに掲示し常に認識するよう取り組んでいます。また、子どもの尊重や基本的人権への配慮について、各保育士は年2回行う自己評価の中で気づきを得て振り返りを行う取り組みが行われています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>下野市では、公立5園が一体となってマニュアル作りが行われており、プライバシーの尊重と保護や守秘義務、虐待などについては「保護者支援マニュアル」の中に整理されています。子どものプライバシー保護については、個人情報の取扱いについて保護者から書類を提出していただいております。氏名や写真等の取扱いに配慮した保育が行われています。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園に関する情報の発信は、主として下野市が公立5園について市のホームページや広報により情報を提供しています。利用希望者に対しては、随時見学受付を行っており、希望に合わせて日程を定めています。見学当日は、「入園のしおり」を用いて説明した後、園内の見学、説明を行っています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>新たに入園が決定した保護者等に対しては、「新入園児オリエンテーション」を開催しています。「入園のしおり」に沿って保育時間等に関する説明が行われます。必要となる持物については、写真やイラスト入りでわかりやすい資料となっています。年度の途中で入園する際にも、個別に同様の対応が行われています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>市内の公立保育園に転園する場合には、児童票等による引き継ぎを行い、保育の継続性に配慮した対応を行っています。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園では、全ての保護者と年に1回「個人面談」を行っています。保護者の都合に合わせて日時を設定するとともに、事前に質問事項を伺うなどにより、保護者の理解を深め、保護者の考えや家庭での様子などを理解する機会としています。面談結果については個人の児童票とともに保管し、毎年振り返り、反省ができるようになっています。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情やご意見等を解決するための仕組み（第三者委員等）について、入園のしおりに記載し、新園児オリエンテーションや保護者会で説明を行っている他、園の玄関への掲示や、園だよりにて適宜お知らせしています。このような取り組みによって、保護者アンケートでは「第三者委員についての周知」について「知っている」が91%と大変高い回答率を示しており、高い周知率が裏付けられています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>上記の「第三者委員等」に加え、「声のポスト」を「たんぽぽ」クラスの靴箱の上に設置しています。アンケートの回収箱としての利用はありますが、「声のポスト」に苦情が寄せられたことはありません。保護者アンケートにおいて「保護者が意見を言いやすいように、職員は言葉かけを行うなどの取組をしていますか。」について「はい」は82%と高い回答率となっています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>昨年度の運動会は、お弁当を持参し午後まで行っていました、「午前中で終わらせてもよいのでは」という保護者アンケート意見がありました。この意見に対して園内でプログラム等を見直すなど検討した上で、今年度、保護者会等にて検討いただき、午前中で終わらせることとなりました。これについて保護者アンケートでも好評だったようです。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>市内5園の共同で作成した「保育安全マニュアル」を基本とし、毎年、リスクマネジメントの研修に職員が参加し、報告・回覧などが行われています。本年度は研修参加をきっかけに、改めて重大事故が発生しやすい場面について、全職員が一から見直す取り組みが行われました。園ではこれを場面等ごとにまとめて整理し、全職員に回覧し注意喚起をするとともに</p>		

に、マニュアル等の見直しに繋げていく考えとのことでした。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育安全マニュアルに、感染症と登園に関する医師の診断等についての記載があり、その一部は入園のしおりにも記載され、保護者にも伝えられています。園内での感染症が発生した場合には、メールで保護者に連絡していますが、保護者アンケートでは「発症状況等の情報の伝達」について「はい（伝えている）」との回答率は68%となっており、情報伝達等の取り組みの充実・改善が求められます。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>災害に対しては、毎年、避難訓練年間計画を策定し、火災、地震、風水害、さらには不審者対策の訓練を、毎月想定を変えて行っています。本園は田川氾濫時の洪水浸水の想定区域に含まれていることから「風水害対策計画（マニュアル）」の作成をしており、さらに自然環境や社会情勢の変化を踏まえ、避難訓練等計画の見直しにも取り組んでいます。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園における保育の標準的な実施方法を定めた「保育マニュアル」を年齢毎に定めている他、「土曜保育マニュアル」なども整備されています。職員アンケートにおいて「標準的な実施方法に差異が生じないよう、職員研修等を実施していますか」の問いに「できている」との回答率は低い結果となっており、取り組みの充実・改善が求められます。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>上記、年齢別の「保育マニュアル」は、毎年度末に各担当者が評価・反省を行い、次年度に向けての見直しを行っており、主任保育士及び園長との協議を踏まえて確定する体制となっています。なお、見直しにあたっては、保護者アンケート等による意見も踏まえながら、検討を行うこととされています。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画は、保育課程を踏まえ各クラスの担当職員が作成し、園長や主任との協議等を踏まえて策定されています。職員アンケートにおいて「実施計画等には、さまざまな職員が参</p>		

加して協議していますか」の問いに「できている」との回答率は低い結果となっており、取り組みの充実・改善が求められます。

43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
----	----------------------------------	-------

<コメント>

指導計画は、月案は毎月、週案は毎週、前回の反省を踏まえて作成することとなっています。年間指導計画は四半期毎に振り返りが行われており、保育士の自己評価が記載されていることを確認しました。また、全ての保護者と年に1回行う「個人面談」や、保護者参加行事に対するアンケートなども参考に見直しが行われています。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

子どもに関する保育の記録は、担当職員が日誌や児童票等に記載しており、「児童票記入の仕方について」の文書や職員会議などにより記載方法の統一化を図っています。日々の子どもの様子等の情報の共有化は、朝遅番も利用する「ミーティングノート」1冊に必要事項を記載し、保護者や担当職員等への連絡に用いられています。

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
----	----------------------------------	-------

<コメント>

児童票は事務室内の鍵の掛かる書庫に保管し、使用する場合は事務室内に限定することが定められています。また、各種書類の保管については、下野市が定める基準に従い「ファイル基準表」を定めており、これに基づき保管・廃棄等が行われています。職員アンケートにおいて「記録の管理の方法について、個人情報保護や情報公開の観点から、職員研修が行われていますか」の問いに「できている」との回答率は低い結果となっており、取り組みの充実が求められます。

## A-1 保育内容

A-1- (1) 保育課程の編成		
A①	A-1- (1) -① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの最善の利益について記載されている「保育理念」や、「保育方針」、「保育目標」等が定められ、「保育課程」にも明記されています。「保育課程」は、毎年度末に担任に用紙を配り、担任は達成状況を確認し、実態とかけ離れている項目については見直しが行われることとなっています。</p>		
A-1- (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1- (2) -① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各クラスにおいては「衛生管理チェックリスト日常点検表」があり、衛生管理面について各クラス担当職員がチェックを行っています。子どもの状況等をみて暖房を入れたり切ったりしていますが、定期的にクラスの温湿度を管理・記録することで、より快適な環境の形成につながるものと思われます。園庭においては、遊具や通用門などを対象とする「遊具安全点検表」に基づき、毎日、担当職員により点検が行われています。</p>		
A③	A-1- (2) -② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園の保育方針の第一に「一人ひとりの個性を尊重し、見守り、育み、そして伸ばす保育」とうたわれています。本園は利用人数 37 人の市内 5 園で最も小規模な園であり、職員はすべての子どもと保護者について、一人ひとり理解することで良好な関係性にあると見受けられます。職員の誰もが、すべての子どもや保護者を知ることによって、子ども一人ひとりの状態に応じた保育が行われているように思われます。</p>		
A④	A-1- (2) -③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食事の場面で、3 歳児がお箸を使ったり弁当箱をハンカチで風呂敷のように包み・結ぶ様子が見受けられました。お箸は使い始めたばかりらしく、無理することなく誘導する職員の声かけが行われていました。</p> <p>トイレ付近に「いいうんちをだすために」という、職員手作りのポスターが貼ってありました。「かちこちうんち → みずがたりない」など、絵で書いてあり、楽しみながらトイレトレーニングや食事にもつながる、工夫された取り組みを感じました。</p>		
A⑤	A-1- (2) -④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園独自の取り組みとして「十五夜参観」が行われています。農作物の豊穡を感謝して祈</p>		

<p>る「藁鉄砲」を、地域の高齢者に習い作るもので、本園の伝統行事として長年行われています。おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に作り、藁鉄砲を鳴らす姿には、楽しみながら好奇心に満ちた様子うかがえます。広い園庭や周囲の自然環境、近隣の高齢者など、地域環境を活かした様々な保育が行われています。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>0歳児は、発達が著しく個人差が大きい時期であることから、一人ひとりの状況に応じた保育の実施が必要です。個別指導計画を基本としつつ、毎日の連絡帳を通して保護者との関係も密接にした上で、日々の成長や健康状態を把握し、一人ひとりの成長に応じてふれあいや声がけを行っている様子うかがえます。また、職員がミルクの空き缶を使ったおもちゃ遊びを手作りするなど、工夫を凝らして取り組んでいる様子も感じられました。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>1・2歳児は自我が育ち活動が広がる時期であることから、子どもの気持ちを尊重したり、探索活動が十分行えるよう関わる必要があります。すべり台や砂遊び、泥んこ遊びなど活発になった園庭での活動や、衣服の着脱・トイレトレーニングなどにおいても、職員は子どもが自分でやる意欲を見定め、安全に活動できるよう支える様子が、保育の様子や記録等から確認できました。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳以上児については、一人ひとりの子どもの育ちに合わせて基本的な生活習慣の定着を図るとともに、他の人やものごとへの関心を高めるよう配慮することが必要です。本園でも農業体験や昆虫観察、高齢者（ゆうがお大学）との交流など、活動が大きく広がっている様子うかがえます。また、4・5歳児のクラスには「郵便ポスト」が設置されていました。子どもが先生やお友達に「手紙を出す」ことが楽しみになっているとのこと。楽しみながら文字を覚える活動につながっているようです。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園では障害のある子どもについては、「子ども発達支援センター（こぼと園）」と連携しアドバイス等を受ける体制が整っており、保護者と連絡を取り合い、お互いに理解を深めながら保育に取り組んでいます。園では、子どもの状況に応じた支援を行うように個別指導計画を作成し、関係機関との協議等を踏まえ、適宜見直しを行っています。また、職員は毎年度、障害児保育に関する研修会等に参加し、資質の向上に努めています。</p>		

A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>朝の登園時や降園時・延長保育は「ポピー」のクラス1か所で行われています。マットを敷いてブロック遊びを行ったり、職員が子どもを抱っこしたりと、ゆったりと、落ち着いて過ごせるように努めている様子が感じられます。朝夕の職員は、保護者との連絡事項をミーティングノートに記載することで、他の職員との情報の共有化を図っています。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>下野市幼保小連絡協議会と連携し、小学校と保育園等において、職員間の研修や就学児の情報交換会が行われたりしており、就学を見通した交流が行われています。また、吉田西小学校で行われる「第1・2学年生活科“秋祭り”」には年長児が参加し、小学生と一緒にゲームなどを楽しんでいます。保護者の参観も可能であり、小学校生活を知る、良い機会になっていると思われまます。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの状態については、初めに「健康記録」を保護者に記入・提出いただき、予防接種状況や既往歴などを把握し、健康状態を確認しています。日々の保育においては、朝夕の送迎時に保護者から様子をうかがうとともに、日中は常に子どもの様子を気かけ、様子を見て体温を測定したりしています。保護者アンケートでは「保育中の発熱やけがの処置、保護者への連絡等体調変化への対応は十分ですか」との問いに「はい」の回答率が96%と大変高い値を示しており、保護者の高い評価がうかがわれます。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園では、毎年2回、健康診断、歯科検診、尿検査を行っています。診断結果については、児童票等に記録するとともに、紙面にて保護者にお知らせしています。また、診断結果によっては治療等を勧奨しています。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アレルギーに対しては、「保育安全マニュアル」内に「アレルギー対応の流れ」や「アナフィラキシーの対応」など、基本的な流れや具体的な対処方法等について記載されています。食物アレルギーに関しては、別途、「食物アレルギー対応マニュアル」があり、医師の生活管理指導表のもと代替食の検討・確認、別トレイによる配膳など、マニュアルに従って対応が行われています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>下野市では農業体験に対する補助金があり、本園でもこれを活用し農業体験を行っています。近くの農家の協力を得て広い畑を借りて、様々な夏野菜やサツマイモを育て、収穫しました。暑い夏の水やりや草むしりなど大変な様子でしたが、収穫には2歳児も参加し、楽しんでいる様子うかがえます。これらを含めた食育計画を作成しており、子ども達が食事を楽しめる工夫が行われています。</p>		
A⑩	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>給食の献立は市の栄養士が作成しており、市内5園で共通となっています。月ごとに各5園の子どものリクエストに応えるメニューや、誕生会メニュー、季節・歳時記に応じたメニューなどもあります。検食や給食状況については日誌等に記録し、園内給食会議や献立会議において話し合い、改善される体制がとられています。</p>		

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑪	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家庭との連携においては、朝夕の通園時における保護者との日々のあいさつを基本に、連絡帳（0・1歳児は毎日、2歳児以上は必要に応じて記載）や、年2回の保育参観、9月に行われる祖父母参観により、家庭との連携を図っています。</p> <p>さらに、今年度は保護者を対象に「一日保育士体験」を行いました。参加者の意見は好評であったものの、参加者は2名にとどまっており、理解を得る工夫が望まれます。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑫	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>本園は小規模園として家庭的な雰囲気のある園であり、日々のコミュニケーションにより保護者との信頼関係があるように感じます。その上で、毎年1回、個人面談を行っており、事前に質問事項をうかがい相談に応じるなど丁寧な対応が行われています。保護者アンケートで「子どもの状態や育ちについて、保護者の相談に応じてくれますか」で「はい」が91%と大変高い回答率となっています。</p>		
A⑬	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者支援マニュアルに「虐待が疑われる子の早期発見」や「虐待の疑い発見のチェックリスト」、「児童虐待対応の流れ」などが記載されており、各クラス・職員に配布されている他、毎年、虐待防止講演会・研修会に職員が参加し、会議での報告や資料の回覧等により全職員に周知するなど、予防と早期発見に向けた対応がなされています。</p>		



### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育者のための自己評価チェックリストを用い、保育士は年2回自己評価を行っています。この自己評価によって、各保育士が行ってきた保育を振り返り、気づきを得ていることが、評価結果・コメント等により示されており、各々が保育実践の改善や専門性向上のきっかけとなっていると感じます。さらに園では、園全体の結果として取りまとめ、職員に報告しており、園としての改善に向けた取り組みが期待されます。</p>		